

格闘技を続けることの意味とは何か

守屋 光 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 豊田 則成

キーワード: 格闘技 避けられない恐怖 自己表現 更なる挑戦

1. 緒言

本研究は、「格闘技を続けることの意味とは何か」というリサーチクエスション (Research Question : 以下 RQ) を設定し、格闘技を続けることの意味づけに着目しながら質的にアプローチし発展継承可能で有益な仮説的知見を得ることを目的としている。

2. 方法

研究の対象者となったインフォーマント (情報提供者:以下 Inf.) として、現役で活動する格闘技選手 9 名を選出し、インタビューマニュアルを基に、1 対 1 形式の半構造化インタビューを実施した後、質的研究の代表的手法である、グラウンデッド・セオリーアプローチ (Grounded Theory Approach : GTA) を行った。

3. 結果と考察

本研究は、「格闘技を続けることの意味とは何か」という RQ に対して格闘技を続けることの意味づけに着目して研究を行った結果、選手の語りから概念図 (下記 Fig. 2 を参照) を生成し、『始めた頃の楽

しさから実戦への興味に移る中で避けられない恐怖を認知するが、実戦を通して格闘技の魅力に気づくことで、格闘技の舞台を、自己を表現する場であると認識する。そして、格闘技をする自分の価値を高め続けるために、現状に満足することなく、更なる挑戦に至る』という仮説的知見を導き出した。

4. まとめ

- ①初心者には実践を通すことで格闘技の新たな魅力を気づかせることで自分の新たな一面を見出し、競技意欲を向上させることが出来るのではないかな。
- ②殴られる恐怖は避けられるものではないが、様々な経験を経ていくことで恐怖と向き合うことができるようになるのではないかな。
- ③実践練習の後に、お互いが称賛し合うこと習慣づけることで、格闘技を行う自らの価値を高めるとともに、更なる競技力向上の動機づけになるのではないかな。

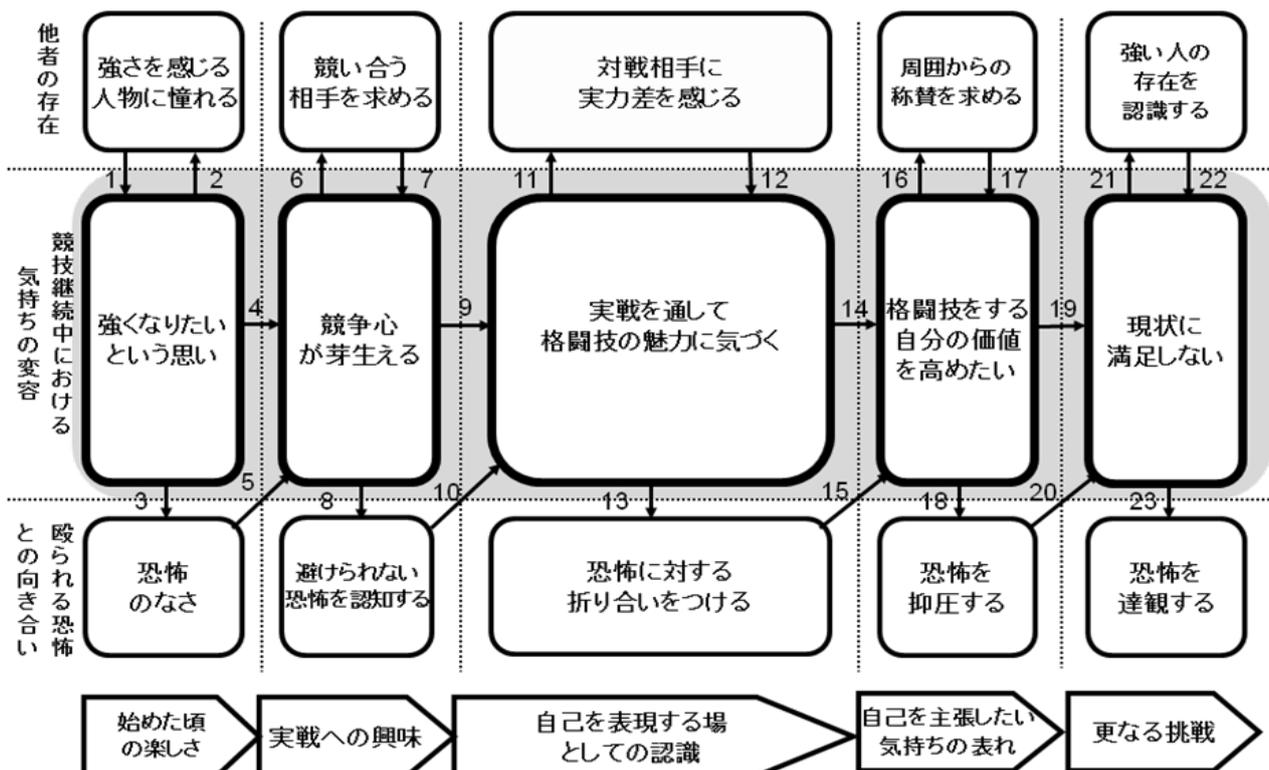


Fig.2 格闘技の魅力を獲得し更なる挑戦に至るプロセス (カテゴリーグループ関連図)